

情勢報告（令和2年1月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

来年も優良な水稻種子を生産しよう！ ～田井採種組合で反省会を開催～



反省会の様子

12月20日、土佐町で、田井採種組合の生産者、JA、普及所等17人が参加して反省会を開催しました。

普及所は、本年のほ場審査や生産物審査結果を報告するとともに、ばか苗病、ごま葉枯病対策を中心に、次作にむけて指導をしました。

参加者から「健全な種子生産のために、今一度基本的な栽培技術を徹底しよう」「ばか苗病の発生を防ぐために、種子消毒、浸種時から各作業行程で気をつけよう」という発言がありました。

今後、普及所は、混種事故の防止、優良な種子生産のために、2月の総会等の場で、施肥や病虫害防除等の指導を行います。

シシトウ栽培、始めませんか？ ～シシトウ部会新規栽培者講習会～



説明を聞く参加者

1月20日、JA高知県れいほくシシトウ部会は、新規栽培希望者を対象とした講習会を普及所で開催し、希望者2人とアドバイザーとして生産者2人が参加しました。

普及所は基本的な栽培管理を説明しました。希望者から、「病虫害防除のポイントは何か」「連作障害対策は必要か」などの質問がありました。

アドバイザーから、自らの経験をふまえた栽培管理のポイント説明と、「疑問があれば部会全体で支援します」と発言があり、希望者の不安解消につながりました。

今後、普及所はJA、部会員と連携して、新規栽培者の育成に取り組めます。

「産直野菜の振興」～本山町野菜栽培ごよみ作成委員会～



委員会の様子

直販所むけ野菜の生産拡大のため、本山さくら市で1月20日に本山町野菜栽培ごよみ作成委員会が開催されました。本山町農業公社2人とJAれいほく営農経済センター2人の参加があり、普及所は暦の様式や消費者に旬の野菜を紹介するパンフレットの案を説明しました。

参加者から「生産者にわかりやすいように播種や定植、収穫の時期を色分けしよう」と意見がありました。

普及所は、作成した暦を活用して直販野菜の栽培品目の拡大や周年出荷を推進し、地域の活性化を支援します。

ユズの青果出荷拡大にむけて頑張ろう！ ～JAれいほく園芸部柚子部会総会～



盛りだくさんの情報提供を
真剣に聞く生産者

1月21日、大豊町でJA高知県れいほく園芸部柚子部会総会が開催され、生産者11人が参加しました。

会では、青果出荷拡大にむけて、今年度の現地検討会や販売等の実績確認及び次年度の活動計画等について協議しました。

普及所は、今年度の生育概要、トゲ無し優良系統、視察研修先候補や現地検討会の開催目的等について情報提供しました。生産者から、「降雨量と防除タイミングの判断が難しい」「黒点病に感染する仕組み」等について質問がありました。

普及所は、新年度の防除暦作成後に適期防除の講習会を開催します。